

特集

令和 6 年度

中学生海外体験学習事業

— Friendship with Digne-les-Bains —

姉妹都市提携のきっかけとなったアンモナイトの壁



中学生の皆さんが撮った写真

私たちのフランス訪問記

3月14日～21日までの8日間、中学生海外体験学習事業で、中学生9人が姉妹都市提携30周年を迎えたフランスのディーニュ・レ・バン市を訪れました。
日本とは全く異なる生活・文化を体験することで、中学生たちはどんなことを感じ、学んだのでしょうか。
中学生たちが臨んだ中学生海外体験学習事業でのディーニュ・レ・バン市への訪問に迫ります。

唐丹中学校 2年

小野寺 頼 さん

フランスの家は、レンガなどを使っており、木材はほとんど使われていませんでした。ディーニュ・レ・バン市やパリでは街並みを守るため、建物の高さ制限があり、ある程度の高さまでしか建てられません。伝統のある街に触れ、驚きや発見があり、刺激的な経験をすることができました。



釜石中学校 3年

若生 彩花 さん

ディーニュ・レ・バン市長の表敬訪問の際に、生徒代表としてあいさつをして、ホームステイや学校訪問で楽しみなことを発表しました。また、鉄、海、ラグビーを説明するグループに分かれて、橋野高炉や釜石市で獲れる魚、タグラグビーなど釜石市の魅力を伝えることができました。



釜石中学校 3年

久保 伶奈 さん

釜石市とディーニュ・レ・バン市の姉妹都市提携のゆかりの場所であるアンモナイトの壁を見学し、アンモナイトの化石を見ました。港があるマルセイユからディーニュ・レ・バンまで100km以上離れています。もともとは海底だった場所が隆起して、山の中にアンモナイトの化石があることにとても驚きました。



大平中学校 2年

今野 凛彩 さん

ホストファミリーとの3日間はどんな生活をするのかと不安でしたが、お互いに英語や翻訳機を使って、カードゲームやアニメ、食の話をしていたら、あっという間に打ち解けて家族の一員になりました。フランス料理を作ってくれたり、一緒に買い物に行ったり、ダンスをしたり、とても楽しい3日間になりました。



釜石中学校 3年

虻川 結空 さん

クリストフ・メナードスタジアムで、地元チーム「ディニョワ」を応援しました。選手同士がぶつかり合う迫力とサポーターの歓声にたくさんのエネルギーをもらうことができました。また、ラグビー交流を通じて、ラグビーワールドカップ2019岩手釜石開催のレガシーが受け継がれていることを実感しました。



甲子中学校 2年

米澤 悠真 さん

ディーニュ・レ・バン市の子どもたちと「青年と学生の家」で日本の文化の紹介を通して交流しました。折り紙、書道、けん玉などの遊び方を教えて一緒に楽しみました。マリア・ボレリ校の生徒のみんなが興味を持ってくれて嬉しかったし、上手に皿にけん玉を乗せていたので驚きました。



釜石中学校 3年

阿部 紗希 さん

ナポレオンが通った道が残っていたり、哲学者ガッセンディの像が設置されているなど、歴史や文化を感じられる街でした。博物館では、チベット研究で著名なアレキサンドラさんの人生を知ることができ、貴重な資料を見ることができました。また、博物館では日本の歴史や仏像なども紹介されていて、とても驚きました。



釜石中学校 2年

三浦 碧人 さん

フランスの有名な化粧品ブランドであるロクシタン社に行きました。ロクシタン社では、製品の原料となる花や植物の種類や、製品を作る際に工夫していることなどを学びました。私の家族が普段使っているロクシタンの製品が、実際どのように作られているのかを知ることができて、すごく貴重な経験でした。



甲子中学校 2年

佐々 舞風 さん

マリア・ボレリ校の生徒たちとフランスの童謡「アヴィニョンの橋の上で」を一緒に歌い、日本の童謡「さくらさくら」を披露しました。また、生徒たちが私たちにに向けて曲を披露してくれました。とてもきれいな演奏と美しい声で歌ってくれて、印象に残っています。皆さんとの交流がとても楽しかったです。

